



ネットで秋厚労ニュース ID shukouro
http://www.shukouro.net/ パスワード 0188643341

メール syukoro-kyosen@w3.dion.ne.jp

秋厚労ニュース

NO1792号

2017年9月21日
秋田県厚生連労働組合
秋田市山王5-4-2
TEL 018(864)3341
FAX 018(864)3349

茨城で学ぼう

土浦

全厚労 医療研究集会

来る11月17日～19日、茨城県土浦市において全厚労第34回医療研究集会が開催されます。厚生連の危機をきっかけに、茨城では、医療労働者と住民が手を取り合い、地域の医療を築こうとしています。

11月17日(金)

全厚労第34回医療研究集会 日程表

| | | | |
|-------|---------------------|----------------------------|----------------|
| 13:30 | | 全体集会開会 | |
| 13:50 | グリーンコ アホテル土 浦 | プロローグ「全厚労医療研究集会の果たしてきた役割」 | 安本運営委員長 |
| 14:20 | | ポイント学習「石西・栃木・埼玉の経過、教訓と総括」 | 岡部運営委員 |
| 14:50 | | ウェルカム報告「茨城のこの間の運動」 | 茨厚労・美野輪執行委員長 |
| 15:20 | | 基調講演「医療を国民の手に取り戻すために」 | 講師 京都大学 岡田知弘教授 |
| 17:00 | | 解決方向の提案「住民の運動に学び、ともに参加しよう」 | 鈴木運営委員 |

11月18日(土)

| | | | |
|------|----------------------|------------------------|-----------------|
| 9:10 | 茨城県南 生涯学 習センター | ガイドスピーチ「今集会の分科会の目的と内容」 | 茂原事務局長 |
| 9:30 | | 分科会 第1 医療労働者と住民とのかかわり | 助言者 三重短大 長友薫輝教授 |
| | | 第2 本来の仕事がしたい | 助言者 佛教大学 横山壽一教授 |
| | | 第3 住民と協同する病院運営 | |
| | | 第4 厚生連病院の果たすべき役割 | |

11月19日(日)

| | | | |
|-------|------------|------------------------|--------|
| 9:00 | 同センター | 分科会 | |
| 11:00 | 土浦市民 会館 | 全体集会開会 | |
| 11:10 | | 分科会の報告 | |
| 11:30 | | エピローグ「今集会の成果・教訓と今後の展望」 | 茂原事務局長 |

《地域医療を考える住民のつどい in 土浦》

| | | | |
|-------|------------|------------------------|------------------|
| 13:00 | 土浦市民 会館 | 開会 | |
| 13:30 | | シンポジウム「住民にとって医療とは(仮題)」 | 助言者 明治大学 山口不二夫教授 |
| 15:30 | | 閉会 | |

医療労働者と住民が地域の医療を築こうとしている

今年の全厚労医療研究集会には、かつてない特徴が3つあります。

1つ目は、「厚生連の危機」と正面から闘っている「茨城」で開催すること。この集会は、兵庫・岩手・秋田など、「医療の危機」を意識して会場を設定してきました

た。栃木・埼玉でも開催しましたが、残念ながら厚生連は解散。しかし、茨城は、病院職員や県民の奮闘で踏みとどまっています。全厚労の中でも「茨城への応援の仕方がわからない」との声がありますが、ともかく現地に駆けつけるこ

研究者 最高の布陣

2つ目は、多くの研究者の力をお借りしていること。講演は岡田知弘先生(京都大学)。助言者に横山壽一先生(佛教大学)、長友薫輝先生(三重短期大学)。「住民のつどい」に山口不二夫先生(明治大学)。パンフレットを見た茨城の住民は「最高の布陣」と評していました。これだけの研究者から学ぶ機会はめったにありません。

歴史の画期となる貴重な集会

3つ目は、医療研究集会と併せて「地域医療を考える住民のつどい」を設定していること。主催は茨城住民による実行委員会、シンポジウムを軸にした住民集会です。準備段階から住民と医療労働者が手を取り合い、何回も話し合いを重ねて、自ら地域の医療を築こうとしています。「医師不足」などで悩む秋田県民としては、ぜひとも学び

せめて2日間の参加を

たい取り組みです。

全厚労医療研究集会は、1983年(昭和58年)から始まりました。それは、日本の医療が大きく変えられた時代であり、今の「厚生連の危機」の根源期です。今回は、長い歴史の中でも「画期」となる貴重な集会。3日間が無理ならば2日間でも良いので、その場に身を置くべきです。

全厚労第34回医療研究集会

11月17日(金) ~ 19日(日)

13:30 ~ 15:30

茨城県土浦市